

レジデントのための血液透析患者マネジメント 第2版

門川俊明(著)

京大大学院教授・腎臓内科学

柳田素子

かゆいところに手が届く非常に優れた入門書

わが国の血液透析患者さんは31万人を越えました。併存する疾患の治療、検査や手術のためにさまざまな診療科に入院しておられるため、どの診療科の医師であっても、血液透析と無縁であることはできません。その一方で、血液透析患者さんでは体液管理や血液管理、薬剤の使い方などさまざまな点が異なり、分野外の先生方にとっては敷居が高い分野となっています。

本書は、若手医師や分野外の先生方が血液透析の基本を初めて理解する上で非常に優れた入門書となっています。本書は通読することが前提となっていますが、一人の筆者が一冊を通じて著述しておられるために各章間で重複がなく、あっという間に通読できます。まず第1章で基礎知識を身につけ、第2章では血液透析導入、第3章では維持透析の管理、第4章では急性腎障害と少しずつ知識を深めていき、第5章では特殊な血液浄化についても知識が得られるようになっています。

本書の特徴として、随所に優れた比喻が使われており、分野外の先生方や若手医師が血液透析のイメージをつかみやすいという点があります。専門家はともすれば自分が若手医師だった頃のことを忘れてしまいがちで、若手医師が「何がわからないのかわからない」状態に陥りがちです。本書は著者が所属する慶大病院で腎臓内科をロー

テートするレジデントたちに配っていた小冊子が下敷きになっているとのことですが、長年医学教育の現場で若手医師と向き合いながらその理解を助けてきた著者でなくてはわからない、かゆいところに手が届くような一冊となっています。

各章では随所に明確なポイントが挙げられ、さらには要所所で例題が設定されており、それを解くことでより透析を身近に感じることができるように構成されています。

さらに第2版では、最新のガイドラインや薬剤に対応するように修正されたほか、高血圧、糖尿病、脂質異常症のマネジメントの3項が加筆され、より情報量が増えています。

本書を読めば、きっと血液透析に親しみを持っていただけのではないかと思います。

若手医師のみならず、分野外の先生方にもお薦めしたい一冊です。



●A5/頁216/2014年
定価：本体2,800円＋税
[ISBN978-4-260-01976-7]
医学書院 刊